

きょうと・ぎおんまつりぼらんていあにじゅういち

## 京都・祇園祭ボランティア21

[京都市推薦]

□ <http://www.gionmatsuri.jp/volunteer/>

わだ じゅんじ

代表者名:和田 淳司 団体構成人数:約600名

### ■ 活動内容等

「日本の伝統・文化の継承のお手伝い」、「京都の元気を我々青年の手で」を合言葉に、祇園祭の山鉾巡行を通して青少年の社会参加と健全育成を推進することを目的として活動している団体です。

1,100年の歴史をもつ祇園祭において、山鉾巡行の曳き手ボランティアとして参加し、また、曳き手以外にも、曳き手への湯茶接待、沿道整備等で参加しています。

昭和58年に、初代会長が全国に先駆けて京都で各青年・青少年団体を統合する集まりをつくろうと呼びかけ「京都青少年活動推進会議」が発足しました。活動の3本柱のうちのひとつ「祇園祭山鉾曳き手実行委員会」としてスタートし、平成8年からは推進会議の発展的解消により単独にて「京都・祇園祭ボランティア21」として活動を発展継続させています。

発足から今日に至るまで延べ12,000名の青少年が、国の重要無形民俗文化財である祇園祭山鉾巡行に曳き手ボランティアとして参加しており、この取組は地域の伝統文化を担う人材を育成し、古い伝統の精神を養い継承する貴重な機会となっています。また、若者が心をひとつにして連帯し、山鉾町と連携して山鉾巡行を支える活動は、地域に密着した活動として、世代を超えた交流を活発化する役割も果たしています。当初は32基の山鉾のうち8基の曳き手ボランティアでスタートしたが、2010年現在では21基に曳き手として参加するまでになり、また、日本の祭事にも関わらずこれまで約30ヶ国・延べ1,000名以上の外国人ボランティアが参加しています。



ボランティアスタッフ全員参加のオリエンテーションの様子



山鉾巡行での辻回しの様子

### ■ 受章者からの一言

祇園祭の曳き手は各山鉾町内の町衆が担ってきたもので、外部の人間がボランティアとして参加することに抵抗感もある中スタートしたのですが、年々実績を重ね信頼を得ることにより、今では全体の3分の2の山鉾を曳かせていただくまでになりました。山鉾巡行当日は600名を超える方々に沿道整備など、曳き手以外でもお手伝

いいただいております、その取り纏めには苦労もありますが、祇園祭当日迄に何度も打合せを重ね、各山鉾の担当別にしっかりとミーティングを行うなど、全員の意思を統一し、参加意識の高揚を図ります。祇園祭に対して各々の高い参加意識が無ければこのボランティアは成り立ちませんので、本当に皆さんには頭の下がる思いです。